

# 木々の会 2022年度活動計画

## I 基本方針

1982年に家族会（浜家連）により開設された「むくどりの家」は今年で開設40周年を迎えます。その後「木楽舎」を含めた2つの事業所の運営主体となった「木々の会」が1994年に発足してから28年が経ちました。こうした会の活動を長きにわたり担ってきた人たちは地域の方がたであり、その出会いは地域との日常の 関わりの中で起きました。

いま〈コロナ〉に揺れ、時代のありようが移り変わり、世の中が向かう先が見えず、得体の知れない不安を私たちは抱かずにいられません。その真っ只中で木々の会も世代交代と活動のありようの転換点を迎えています。

いま、私たちはメンバーと私たちが暮らす場としての〈地域〉にあらためて目を向けたいと思います。そして地域に根を下ろすチャレンジをしてみたいと思います。並行して、私たちの今後の方向性・ビジョンを描く年にもしたいと思います。

今年度、下記のことにより具体的に取り組むことを提案します。

- ① 新しいグループホームを開設することにより、長期入院を余儀なくされている人も 含めた当事者を地域で支える力をアップし、周辺地域との日々の関わりを丁寧な育てていきます。
- ② 単身生活等の当事者の悩みを気軽に話せる（聞ける）場をつくりつつ、困りごとへのサポートを当事者や会員・パートナー等の協同により行うため、検討や施行を行います。
- ③ 法人運営の要となる事務局の態勢整備、会議体の再編等、会運営の基盤づくりに取り組みます。同時に、日常活動や「むくどりの家」の記念行事、ホームページ等による発信を行い、活動を共にする人との出会いや資金を得る機会をつくります。